

綾子

○病名の告知待つ窓蝸牛
セピア色母の蛇の目にいる私
大好きな服を洗いに天の川

郁子(土)

○青梅やぼつと染めたる紅の色
どくだみはずんと根を張り母のよう
ウォーキングはイオン卵の花腐しかな



紀美

文子

○仰ぎ見る白花梅檀風少し
卵の花腐し誤動作多し電子辞書
芭蕉の葉裏も表もかたつむり

酔花

身ひとつで母をさがしてかたつむり
かたつむり未だ富豪になりもせず
病床の話伽するカタツムリ

迪子

農子

○百の鶴折りて卵の花腐しかな
○柿若葉厨の窓の青く染む
蝸牛術後の歩み妻の添う

えり

○蝸牛牛相撲見に伊予へ行く
別れしも卵月曇の堰しづく
興福寺卵の花腐し塔たてり

哲也

初江

○草笛を吹いてごまかす嘘一つ
卵の花を腐し方言消えて行く
蝸牛俳階の道ゆつくりと

志津子

一人家に卵の花腐し夜もふけて
子かまきり花から葉へと急ぎ逃げ
かたつむり今日一日を寝てくらす

丞子

○生き残り同窓会や卵の花腐し
ランドセル小枝の先のかたつむり
日曜市単語通じたメロン漬

富子

山笑ふ君への扉を叩けずままだ
でで虫や毒木に這うて生き延びし
卵の花煮貧しき卓を彩りて

瑞枝

○人の世の進歩は追わぬ蝸牛
猫膝に卵の花腐し落語かな
白日の真紅の薔薇の闇深し

千代

○でで虫や粘り勝ちなる延長戦
異教徒の髪にスカーフ卵の花腐し
クルーズの乗船こちら蝸牛

味元 昭次 作品

昨日から老鶯なれば応援す
農政はノーセイならん七変化
対岸は白壁土蔵濃紫陽花

★次回市民句会

【開催日時】

令和七年六月二十五日(水)

午後一時十五分～午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 研修室

どなたでも自由にご参加いただけます